

インドネシア：政策金利の引き下げを決定 引き下げは2ヵ月連続、経済成長を下支え

インドネシア中央銀行（BI）は8月20日、政策金利を引き下げ、5.00%にすることを決定しました。2ヵ月連続での利下げであり、経済成長の下支えを目的とした措置です。

BIの動向、市場の反応および今後の見通しについてご説明します。

➤ 政策金利を0.25%引き下げ、5.00%に

金融政策

- BIは、8月20日に終了した金融政策決定会合において、政策金利（7日物リバースレポ金利）を0.25%引き下げ、5.00%にすることを決定しました。これは昨年9月から始まった金融緩和サイクルの中で5回目の利下げになります。市場参加者の間では、据え置き予想と利下げ予想が分かれており、利下げ予想は少数派だったことから、この決定はややサプライズとなりました。
- この利下げは、2025年および2026年のインフレ率が目標レンジ（2.5%±1%）内で推移するとの見通しや、通貨ルピアの安定的な動きなどを踏まえ、経済成長を下支えすることを目的としています。2025年7月のインフレ率は前年同月比+2.37%と、前月の同+1.87%から加速したものの、BIの目標レンジ内に収まり低水準となっていました。

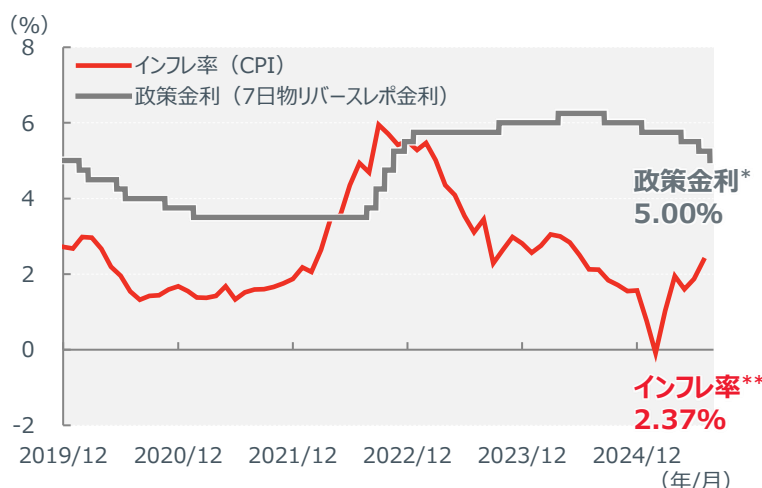
経済成長見通し

- BIは、2025年第2四半期の経済成長率が前年同期比+5.12%であり、予想を上回る成長であったことを発表しました。成長の主な要因として、投資の増加と家計消費の拡大を挙げており、経済成長を下支えしたとの見方を示しています。
- BIは2025年下半期には、輸出の堅調な推移と政府支出の拡大に伴う国内需要の増加により、さらなる成長を見込んでいます。2025年通年の経済成長率は、政府の目標レンジ（4.6～5.4%）の中央値を上回る水準になると予想しています。

政策金利とインフレ率

政策金利*とインフレ率**の推移

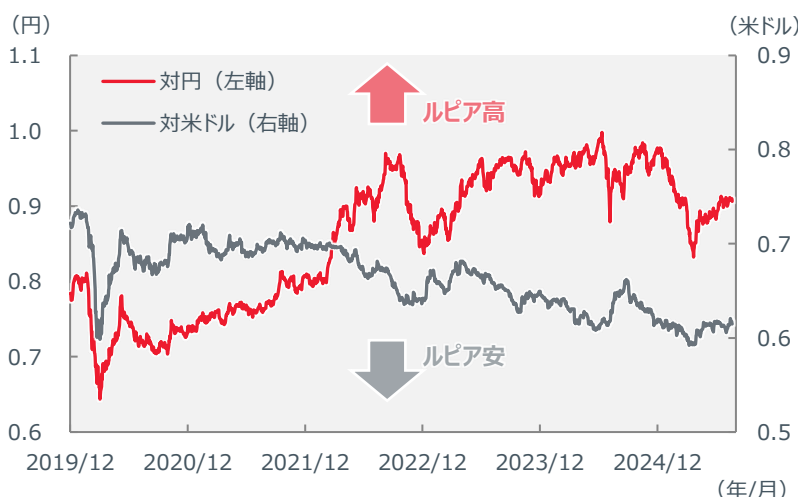
（2019年12月31日～2025年8月20日）



為替

インドネシアルピア（対円、対米ドル）の推移

（2019年12月31日～2025年8月20日、日次）



○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

250821(04)

(1/2)

➤ 市場の反応と今後の見通し

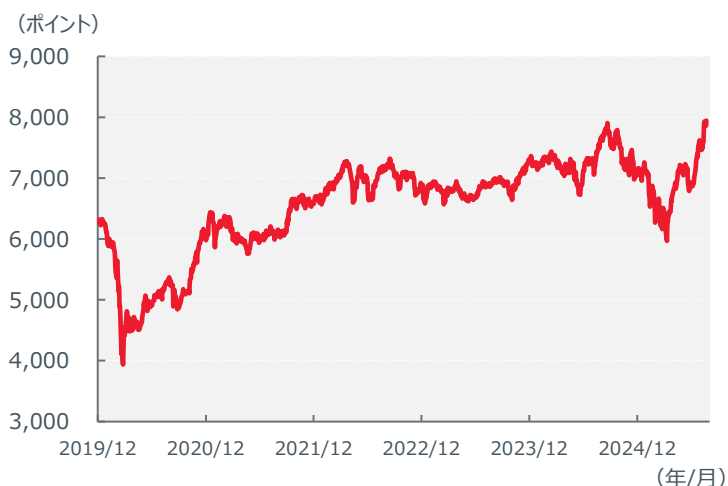
- 市場では、今回の利下げ予想は少数派であったため、サプライズとして受け止められました。発表当日の20日のインドネシアの株式市場は堅調に推移し、ジャカルタ総合指数は前日比1.03%上昇しました。債券市場では、10年国債利回りが前日比-2.3bps（-0.023%）と小幅に低下しました。為替市場では、ルピアは対米ドルで前日比0.13%、対円で0.33%下落しました。
- プラボウォ大統領は、2029年の任期終了までに経済成長率を8%に引き上げることを公約しており、インドネシア政府は2026年の経済成長率予想を5.2～5.8%と示しています。BIは、ルピア安定化策として、NDF（ノンデリバブル・フォワード）およびDNDF（国内NDF）市場への介入を強化し、流通市場において政府証券（SBN）の購入を継続しています。また、信用拡大と流動性管理の強化を目的に、マクロブルーデンシャル政策***の最適化を進めています。さらに、デジタル決済インフラの整備や決済システムの統合を通じて、金融包摂と経済のデジタル化を支援する取り組みも継続しています。
- 当社としては、BIによる利下げは、成長重視の金融政策への転換を示していると考えています。国債や株式市場にとって好条件を生み出し、ルピアも安定性を維持しました。今後は、継続的な金融緩和、堅調なファンダメンタルズ、持続的な資本流入がインドネシア経済を促進する可能性があります。外部要因などには引き続き注視する必要があると考えています。

***金融システム全体のリスクの状況を分析・評価し、それに基づき制度設計、政策対応を図ることを通じて、金融システム全体の安定を確保する政策

株式

ジャカルタ総合指数の推移

（2019年12月30日～2025年8月20日、日次）

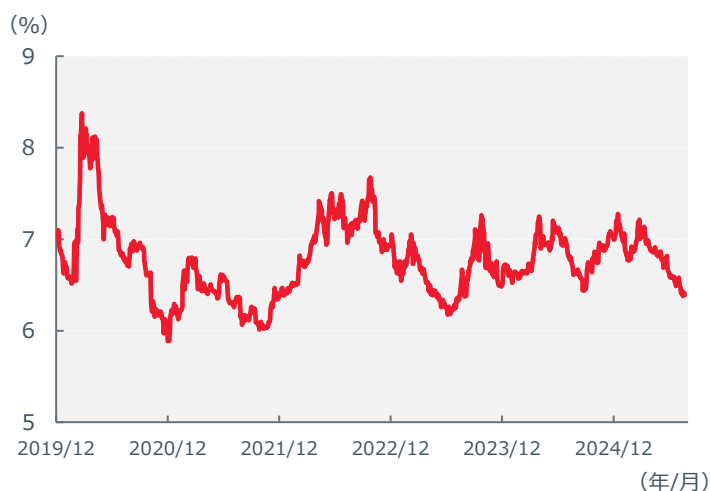


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

債券

インドネシア10年国債利回りの推移

（2019年12月31日～2025年8月20日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項>

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。